

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

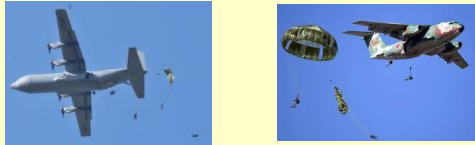
演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について

水陸両用作戦



空挺作戦



海上作戦



統合防空ミサイル防衛



共同統合対艦戦闘



その他関連する訓練（日本全国各地）

- 情報戦
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
- 陸上作戦
- 重要施設等防護（基地警備等）
- サイバー攻撃等対処
- 宇宙作戦
- 統合電磁波作戦
- 統合通信



令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 茨城県内における訓練について

本演習において茨城県で実施する訓練は、

- ① 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊の機動展開訓練）
- ② 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）
- ③ 重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

茨城県内で実施を検討している訓練内容

① 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊の機動展開訓練）

航空自衛隊の戦闘機部隊が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、百里基地への展開を計画しています。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月29日（木）（事前に準備期間を設定）

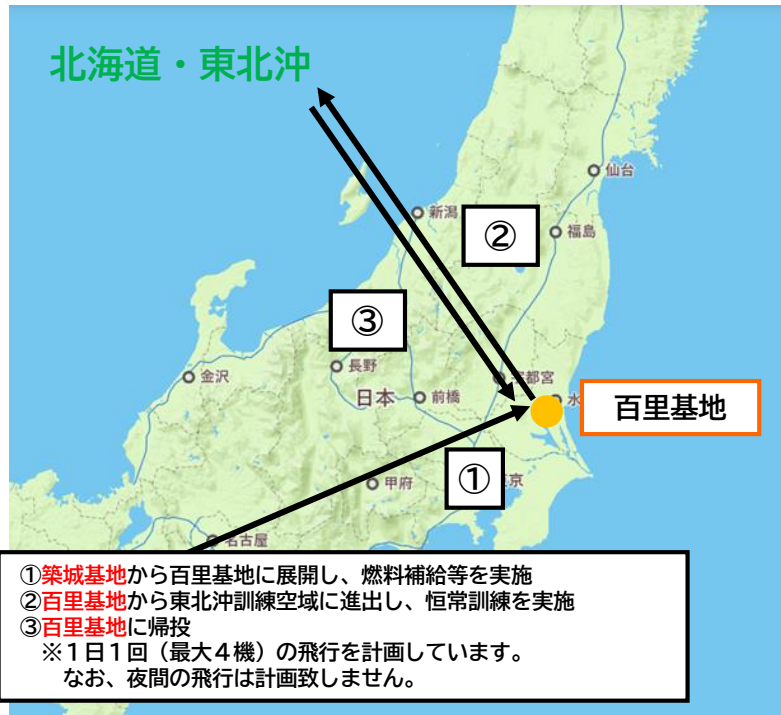
【参加部隊】 航空自衛隊：中部航空方面隊 第7航空団、西部航空方面隊 第8航空団

【百里基地】 人員約35名、F-2戦闘機×4機（最大）

大型テント×1、可搬型燃料タンク、可搬型給油装置、可搬型気象観測装置（調整中）

※ 訓練期間前後及び期間中、人員及び装備品等の輸送のため、輸送機（C-130H又はC-2）の飛行を計画する可能性があります。

訓練イメージ



百里基地



F-2×4
（築城基地所属）



大型テント



可搬型燃料タンク及び
可搬型給油装置



気象観測装置

※ 訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

埼玉県内で実施を検討している訓練内容

② 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

埼玉県において、航空機により那覇基地及び米軍嘉手納基地から搬送された傷病者を自衛隊入間病院へ収容する訓練を実施します。また、航空自衛隊入間基地内で野外臨時医療施設を開設し、米軍等との共同による治療訓練を実施します。その他、入間基地から近隣自衛隊病院及び部外医療機関へ傷病者を搬送し、連携する訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月21日（水）～22日（木）、26日（月）～28日（水）

【参加部隊】共同の部隊等：統合作戦司令部（約5名）、自衛隊入間病院（約100名）、自衛隊中央病院（約10名）

陸上自衛隊：陸上総隊（約150名）、UH-1×1機

海上自衛隊：自衛艦隊（約5名）、US-2×1機

航空自衛隊：航空総隊（約20名）、C-2×1機

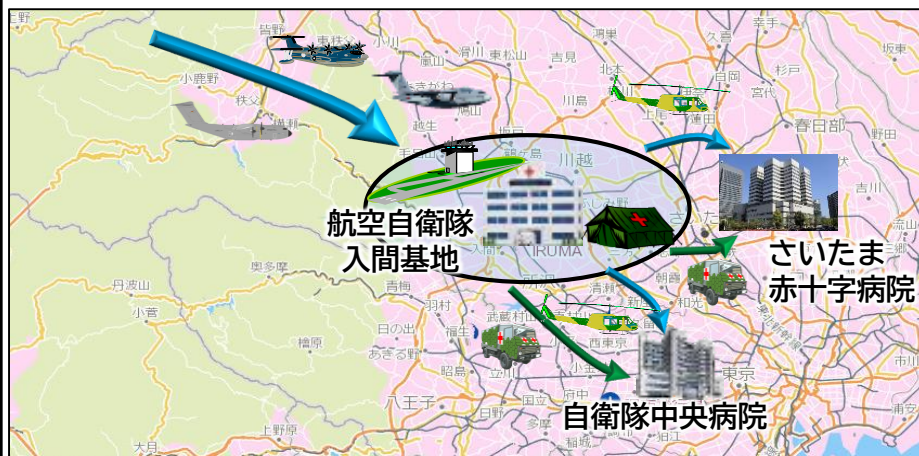
そ の 他：米軍（約20名）

ドイツ連邦軍（約100名）、A400M×1機 A321×1機（※）

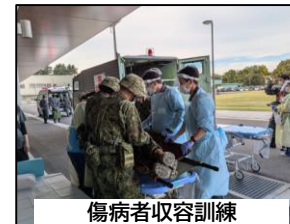
ニュージーランド軍（約5名）、フィリピン軍（約5名）、オランダ軍（約3名）

さいたま赤十字病院

訓練予定場所



訓練イメージ



(※参考) 入間基地及び百里基地に飛来する独空軍機について

独空軍 A 4 0 0 M 輸送機及び独空軍 A 3 2 1 輸送機は、訓練に使用する物資や人員輸送を実施します。

入間基地には、独空軍 A 4 0 0 M 輸送機が 1 0 月 1 5 日に飛来し、1 0 月 2 9 日まで駐機する予定です。

百里基地には、独空軍 A 3 2 1 輸送機が 1 0 月 1 9 日に飛来します。また、1 0 月 2 9 日頃に再度飛来する予定です。

そのほか、独空軍 A 4 0 0 M 輸送機は、人員輸送のため、1 0 月 1 9 日及び 1 0 月 2 9 日頃に、入間基地と百里基地との間を飛行する予定です。



独空軍 A 4 0 0 M 輸送機

大型の戦術・戦略輸送機で、大量の人員・物資を長距離輸送することが可能です。未舗装滑走路や比較的短い滑走路でも運用でき、人道支援、災害救援、空中給油、医療搬送など幅広い任務に対応します。全長 45.1m

全幅 42.4m

全高 14.7m

エンジン 4基



独空軍 A 3 2 1 輸送機

中型の輸送機で、主に人員輸送や医療搬送任務に使用されます。長距離飛行能力を有し、旅客機をベースとした機体のため、快適な機内環境で多人数を輸送することができます。

全長 44.5m

全幅 35.8m

全高 11.8m

エンジン 2基

茨城県内で実施を検討している訓練内容

③重要施設等防護（滑走路（被害）復旧訓練）

陸上自衛隊及び航空自衛隊の部隊が百里基地において、滑走路（被害）復旧訓練を実施します。なお、爆破薬を使用した訓練は実施しません。

【期 間】令和8年10月22日（木）～10月26日（月）※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：第1施設団 約10名

航空自衛隊：中部航空施設隊 約20名、第7航空団 約25名



訓練イメージ

